

特定健診等の現状・課題を説明する

特定健診・特定保健指導事業説明会



府南部保険者を対象とした特定健診・特定保健指導事業説明会は1月13日（火）、府国保連合会で開催し、実務担当者（国保部門・衛生部門）34名が参加した。

開会にあたり、本会の菱田保健事業課長は、20年度の課題を踏まえた上で事業を円滑に進めると共に、保険者からの要望にできる限り応えられるよう努力していきたいと挨拶した。

本会の寺垣主任、江藤主事、松本保健師は、平成20年度特定健診・特定保健指導実施状況より、受診券の情報が特定健診の費用決済に必須であるため受診券の発行が必要であることや、国保連合会での支払代行処理等について説明した。また特定健診等データ管理システムの現状を説明し、本システムを活用して円滑に事業を進めるための説明を行った。



平成21年度特定健診・特定保健指導に向けて、特定保健指導の実施に関する注意点や事業スタートに向けての保険者において準備事項及び機関との契約情報の入力方法等について説明した。

質疑応答の時間では、保険者からの要望や質問が多く出され、新制度の課題や特定健診等データ管理システムの問題点が議論された。

また同説明会は府北部保険者を対象に1月20日（火）、福知山市総合福祉会館にて、国保組合を対象に2月10日に国保連合会で開催された。